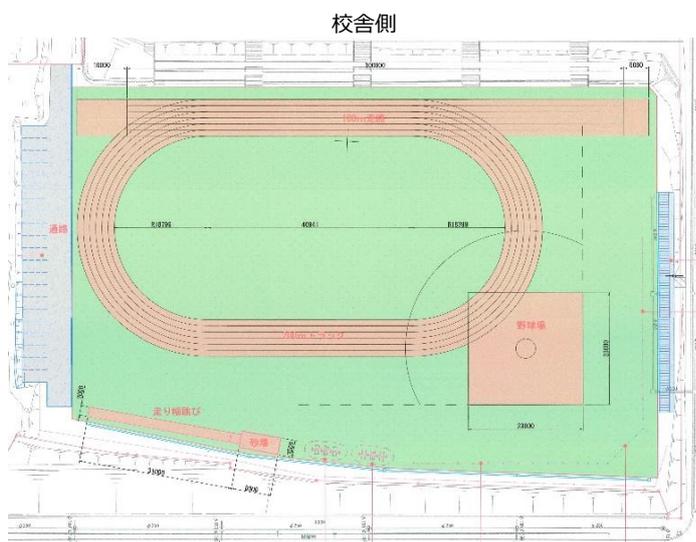


令和6年度の工事概要

グラウンドなどの改良工事がはじまっております。



令和5年度に工事着手した義務教育学校整備事業は、今年度、新たにグラウンドなどの改良工事をおこないます。

ここが変わる 岩内中央学園！

- **グラウンドの芝生化**
子どもたちが安全に運動できる環境を整備します
- **水はけ機能の強化**
土中の排水設備を更新します
- **観客席の補修**
傷んだ部分をなおします

Q グラウンドは狭くないですか？

A 面積は、9学年の児童生徒数に対応した学校設置基準をクリアしており、屋外での部活動については、運動公園も活用しながら対応してまいります。

Q 新しいグラウンドでは、どのような運動をおこなうことができますか？

A 短距離走では、直線100mのほか、1周約200mのトラックを設けます。トラック内では、フットサル規格のサッカーコートを整備するほか、学童野球に対応したダイヤモンド、バックネットなどの整備、鉄棒、走り幅跳びの設備も設けます。

遊具や菜園などは、観客席の上部（校舎側）に設けることとし、令和7年度の工事を予定しております。



【裏面もご覧ください】

旧岩内中央小学校の施工不良に伴う義務教育学校建設工事への影響と、今後の対応について

検討結果・最新情報は

こちらのSNSで発信しています。



Facebook



Instagram

過去のつうしんは

こちらからご覧いただけます。



町公式ホームページ

旧岩内中央小学校の施工不良に伴う、義務教育学校建設工事への影響と、今後の対応について（ご報告）

義務教育学校 岩内中央学園（R8.4開校予定）の建設工事は、旧岩内中央小学校の建物を再利用し、リノベーションという整備手法を用いて、令和5年9月より改修工事を実施しているところであります。

この工事を進めていくにあたり、校舎棟において、旧岩内中央小学校の建設当時（S49年）の施工不良（※）が広範囲に散見されました。

※コンクリート未充填、コンクリート不足による鉄筋の露出など（全体の約27%）

一般的には、リノベーション工事をする際は、ある程度の補修工事を実施することが想定されているものですが、今回の内容は、想定を上回る状況であったことから、町といたしましては、児童生徒が一日の大半を過ごす新しい学校であるため、建物全体の安全性を明確にするための詳細な調査を実施した上で、補強工事を進めていくことといたします。

今後、調査結果を踏まえ、必要な工法を経済比較し、対応方針と工法を最終的に判断してまいります。

なお、**今回の影響により、令和8年4月の開校に向けたスケジュールに関しては、現時点で変更は生じないものと判断しております。**町民の皆さまには、ご心配をおかけいたしますが、ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

